

平成 25 年度学会等での発表実績一覧

1. 誌面発表

	誌名	題目	発表者名
1	Journal of Agricultural and Food Chemistry (2014,62,pp2790-2796)	Water-Based Extraction and Liquid Chromatography-Tandem Mass Spectrometry Analysis of Neonicotinoid Insecticides and Their Metabolites in Green Pepper/Tomato Samples	<u>Takashi Iwafune,</u> <u>Tomomi Ogino</u> and Eiki Watanabe

2. 口頭発表

	学会名	題目	発表者名
1	水草研究会第 35 回全国集会 (2013.8.24~25)	水生シダ植物サンショウモを用いた化学物質の影響評価法 (ポスター)	(生態毒性検査課) <u>石原悟,</u> <u>加藤貴央</u>
2	水草研究会第 35 回全国集会 (2013.8.24~25)	水生植物に対する化学物質の影響評価へのクロロフィル遅延発光の利用 (ポスター)	(生態毒性検査課) <u>加藤貴央,</u> <u>石原悟,</u> 勝又政和, 竹内彩乃, 小林祐子
3	環境科学会 2013 年会シンポジウム (2013.9.3~4)	河川における水稻用農薬の代謝分解物の挙動と生態毒性	(環境影響検査課) <u>岩船敬,</u> 横山淳史, 永井孝志, 稲生圭哉, 堀尾剛, 岩崎亘典
4	平成 25 年度農業農村工学会大会講演会 (2013.9.3~5)	Simulation of pesticide dissipation in agricultural soil by SPEC model SPEC モデルによる農薬消長シミュレーション	渡邊裕純, ダン クオック テュエット, ジヤイケーウ ピヤヌッチ, ソムジュニヤクル ピニティ, (生態毒性検査課) <u>石原悟,</u> (環境影響検査課) <u>岩船敬,</u> (農薬調整指導官) <u>北村恭朗,</u> 山本幸洋

5	第 19 回日本環境毒性学会・バイオアッセイ研究合同研究発表会 (2013.9.7～8)	水生シダ植物サンショウモ幼体を用いた生長阻害試験法の検討	(生態毒性検査課) <u>石原悟</u> , <u>加藤貴央</u>
6	第 33 回農薬製剤・施用法シンポジウム (2013.9.12～13)	2013 年 CIPAC 関連会合の報告	(化学課) <u>渡辺高志</u> , <u>塚田勇輝</u>
7	第 36 回農薬残留分析研究会 (2013.10.24～23)	pH 変化が農薬の土壌残留性に及ぼす影響	元木裕, (環境影響検査課) <u>岩船敬</u> , 清家伸康, 大谷卓
8	第 30 回農薬環境動態研究会 (2013.10.31)	後作物残留問題についてー農薬検査部における調査研究の紹介ー	(環境影響検査課) <u>岩船敬</u>
9	第 31 回農薬環境科学研究会 (2013.11.21)	水生植物に対する化学物質の影響評価へのクロロフィル遅延発光の利用(ポスター)	(生態毒性検査課) <u>加藤貴央</u> , <u>石原悟</u> , 勝又政和, 竹内彩乃, 小林祐子
10	日本食品衛生学会第 106 回学術講演会 (2013.11.21～22)	水抽出による作物中のネオニコチノイド系殺虫剤の一斉分析法の検討ー前処理工程での有機溶媒消費量の削減ー	(環境影響検査課) <u>岩船敬</u> , <u>荻野知美</u> , 渡邊栄喜
11	第 21 回農薬レギュラトリーサイエンス研究会 (2013.12.9)	後作物残留試験の課題ー農薬検査部における調査研究等を踏まえてー	(環境影響検査課) <u>岩船敬</u> , 元木裕
12	日本農薬学会第 39 回大会 (2014.3.13～15)	水生植物に対する化学物質の影響評価へのクロロフィル遅延発光の利用	(生態毒性検査課) <u>加藤貴央</u> , <u>石原悟</u> , 勝又政和, 竹内彩乃, 小林祐子
13	日本農薬学会第 39 回大会 (2014.3.13～15)	農薬の後作物残留リスク評価に関する研究 第 4 報 温度変化が農薬の土壌残留性に及ぼす影響	元木裕, (環境影響検査課) <u>岩船敬</u> , 清家伸康, 大谷卓

アンダーラインが FAMIC 農薬検査部職員